

日本学術会議 公開シンポジウム

フューチャー・ソシオロジー

# FUTURE SOCIOLOGY:

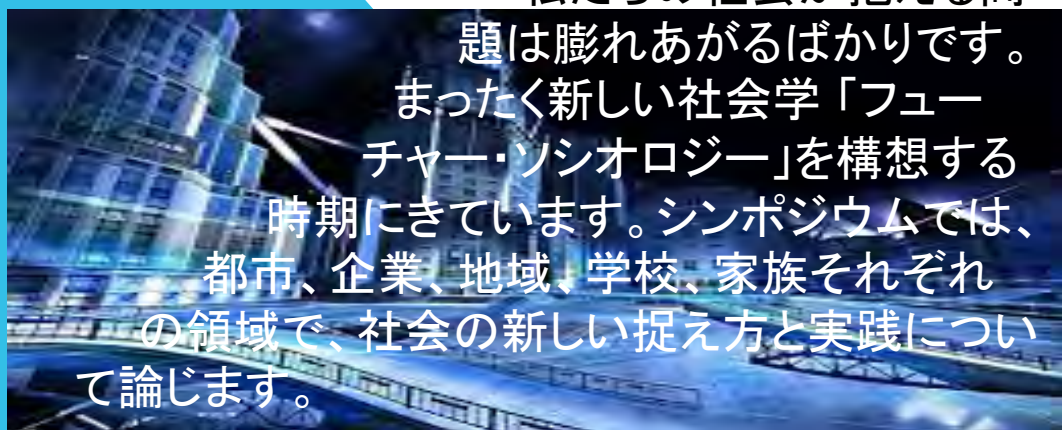
## 理論の未来、実証の未来、政策の未来

2016. 10. 29. SAT. 13:30~17:00

学習院大学目白キャンパス

中央教育棟303号室

転換する今!



私たちの社会が抱える問題は膨れあがるばかりです。まったく新しい社会学「フューチャー・ソシオロジー」を構想する時期にきています。シンポジウムでは、都市、企業、地域、学校、家族それぞれの領域で、社会の新しい捉え方と実践について論じます。

「フューチャー・デザイン」

「人工知能と人工社会から未来へ」

「人と世界をつなぐ：ネットワーク社会の50年後の姿」

「地域にとって『未来』とは何か」

「学力格差：今日の公教育の課題とその解決に向けて」

「未来のかぞくと社会」

「多様な未来像からフューチャー・ソシオロジーへ」

西條 辰義

倉橋 節也

塚本 鋭

若林 幹夫

志水 宏吉

渡邊 秀樹

今田 高俊

主催： 日本学術会議社会学委員会      フューチャー・ソシオロジー分科会  
コンタクト：野宮大志郎 042-674-3849      [dainom@tamacc.chuo-u.ac.jp](mailto:dainom@tamacc.chuo-u.ac.jp)

日本学術会議 公開シンポジウム  
「フューチャー・ソシオロジー：理論の未来、実証の未来、政策の未来」

私たちは今、大きな転換点に立っています。世界の各地で、地球温暖化、エネルギー問題、格差拡大、高齢化、福祉制度の破綻などの問題が噴出しています。こうした問題に対して、社会学は様々な「処方箋」を提示してきましたが、有効な対策となるには至っていません。問題は膨れ上がるばかりです。大きなパラダイム転換も含め、まったく新しい社会学「フューチャー・ソシオロジー」を構想する時期にきています。本シンポジウムでは、都市、企業、地域、学校、家族それぞれの領域で、社会の新しい捉え方と実践について論じます。

- ・日時：平成28年10月29日（土）13時30分～17時00分
- ・場所：学習院大学目白キャンパス中央教育棟303号室

I. 開会挨拶 13:30-13:40

遠藤 薫（日本学術会議第一部会員、学習院大学法学部教授）

II. 報告

①基調講演 13:40-14:10

「フューチャー・デザイン」

西條 辰義（高知工科大学フューチャー・デザイン研究センター教授）

②都市インフラ 14:10-14:30

「人工知能と人工社会から未来へ」

倉橋 節也（筑波大学大学院教授）

③企業 14:30-14:50

「人と世界をつなぐ：ネットワーク社会の50年後の姿」

塚本 鋭（㈱クラウドワークス データサイエンティスト）

④地域 14:50-15:10

「地域にとって『未来』とは何か」

若林 幹夫（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

<休憩 15:10-15:20>

⑤学校 15:20-15:40

「学力格差：今日の公教育の課題とその解決に向けて」

志水 宏吉（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

⑥家族 15:40-16:00

「未来のかぞくと社会」

渡邊 秀樹（帝京大学文学部教授）

III. コメンテーターによる討論 16:00-16:15

「多様な未来像からフューチャー・ソシオロジーへ」

今田 高俊（東京工業大学名誉教授・統計数理研究所客員教授）

IV. 全体討論 16:15-16:55

V. 閉会挨拶 16:55-17:00

矢澤修次郎（一橋大学名誉教授）

- ・主催：日本学術会議社会学委員会フューチャー・ソシオロジー分科会
- ・連絡先：野宮大志郎（中央大学文学部教授）[dainom@tamacc.chuo-u.ac.jp](mailto:dainom@tamacc.chuo-u.ac.jp)